

学校教育目標

夢と志を持ち、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

守破離

芦北町立湯浦中学校

学校だより 第1号

令和2年4月9日

文責 校長 畑口益喜

入学おめでとうございます！

35名の新入生の皆さん、伝統ある湯浦中学校への入学おめでとうございます。

氏名点呼で背筋を伸ばし、大きな声で堂々と返事をする皆さんの姿は、中学校生活の第一歩を踏み出そうとする決意に満ち溢れていました。初心を忘れず、人との出会いを大切にして、楽しく有意義な中学校生活を送ることを期待しています。

中学校の玄関には「守破離（しゅはり）」の額が掲げられています。これは、元をたどれば千利休の「守り尽くして破るとも離るとても本（もと）を忘るな」を引用したものとされています。

利休は、修業は、まずは師匠から教わった型を徹底的に「守る」ところから始まる。

次に、師匠の教えに従って修業・鍛錬を積みその型を身につけた者は、他の様々な教えからも学び、試行錯誤することで既存の型を「破る」ことができる。

さらに鍛錬・修業を重ねた者は型から「離れ」て自在となることができる。このようにして新たな流派が生まれる。と言っています。

「本を忘るな」とは、教えを破り離れたとしても根源の精神を見失ってはならないということで、18代目中村勘三郎も「型があるから型破り、型が無ければ形無し」を座右の銘としています。

先輩方が築き上げた湯浦中生の不朽の型に学び、挑戦を重ねることで型を破り、そして新たな伝統を創り出していく。その中にあっても、湯浦中の校訓である「自主・敬愛・気魄」を忘れてはならない。「守破離」は貴重な3年間をどう過ごすかとも重なります。自分は今、どの段階にいるのか。額や学校だよりのタイトルを見るたびに思い出してください。



ホームページをご覧ください

湯浦中学校の生徒の頑張りや学校の情報を地域や卒業生の皆さんにもどんどん発信するため、ホームページを充実させていきます。「芦北町立湯浦中学校」でご検索ください。